

スキトレ企画書

作成日： 2023年 05月 10日

修正日：2023年 09月 12日

校名：とふろう南 企画者：吉川 忠志

活動名：ひっかけ旗揚げゲーム
本活動の着目点
ワーキングメモリや二重課題の苦手な児童を対象に本活動を提案
焦点を当てた生活上の困り感
・「〇〇したら××して」が苦手（例：雨が降ったら洗濯物を入れておいて） ・マイペースで周囲についていくことが難しい
目的・趣旨(ねらい)
・ワーキングメモリの向上 ・注意機能の向上 ・情報処理速度の向上
活動の概要
【場所】 各校活動室等
【日時・所要時間】 約 5分～ 15分程度
【人数】 1人～
【対象者】 赤、白、上げる、下げるの言語指示が理解できる児童
【必要な道具】 ・赤と白の旗×参加人数分
活動の進め方
【進行方法・ルール】 ルール 短い単語で合言葉を決める 例：はい・みんな・じゃあ、など 自然に出やすい言葉は難易度が高くなる 「〇〇、赤あげて」のように合言葉を言った後の指示では動いてはいけない ※反対の行動もしない、あくまで【動かない】 動いてしまった場合のペナルティは設定しない 旗を投げない、優しく扱う、
活動内容

スキトレ企画書

基本は旗揚げゲームである

合言葉を言った直後の指示は無視し、かつ動いてはいけない

例：「赤あげて」→赤をあげる

「〇〇、赤あげて」→動いてはいけない

実演で手本を見せる

時間、もしくは指示の回数を事前に提示する

旗を配布する

実施

旗を回収してから挨拶をして終了する

【進行上の留意点】

児童の移動などによって互いに衝突する位置にいないか

実施時間や実施する指示の回数など事前に提示しておく

【役割】

進行

参加（見守り） 計2人以上が好ましい

スタッフの着目点

- ・楽しむことができているか
- ・そもそも旗揚げゲームができているか
- ・合言葉後の指示で動いてしまった場合、それに気づくことができているか
- ・↑気づいていない場合、合言葉を覚えているか

活動を行う上での注意点

- ・旗や腕の衝突対策
- ・旗を使用した危険行為の対策
- ・この活動はできたかどうかを見るものではない

予算

- ・丸竹箸 110円（50膳入り 100均）
- ・単色折り紙（赤・白） 110円×2（80枚入り 100均）
（白は赤の折り紙の裏を使用してもよい）

※廃材等使用可

計0～330円

その他